

【奨励賞】

「平和だった島」

網走市立呼人中学校

1年 柿野 るいか

「ジョバンニの島」この題名を見たとき、私は意味が分からなかった。もちろん、あの有名な「銀河鉄道の夜」にでてくる、ジョバンニとカンパネルラの事は知っている。でもそれと北方領土と、何の関係があるのか、私は分からなかった。

「ジョバンニの島」は、色丹島に住む兄弟の話だった。私は特に、真岡の収容所から兄弟で抜け出し、山の向こうにいるお父さんに会いに行くシーンで心を動かされた。まだ幼い兄弟が吹雪の中、ロシア人に見つからないようにこっそりと汽車に乗り、山を歩いて、途中でたおれるも、近くの人に助けてもらいやっとお父さんに会えた時は、私もなんだかうれしくなった。その兄弟の家族は、「銀河鉄道の夜」が大好きで題名はそこからきているんだ、と納得した。この兄弟は本当に「銀河鉄道の夜」が大好きで、セリフを覚えるくらい小さい頃から読んでいるんだな、と思った。このアニメは、「銀河鉄道の夜」のように、夢や希望があふれているわけでもないけれど、その中で懸命に生きていこうとする兄弟や兄弟の家族の姿がとても正直に描かれていて、心に響く作品だった。

元島民の方のお話も聞くことができた。択捉島の元島民の佐藤徳一さんの話だ。佐藤さんは主に択捉島での暮らしや真岡に運ばれたときの様子などを語ってくれた。

私が特に心に残ったエピソードは、佐藤さんの出身地、留別から引き上げたときのエピソードだ。朝八時半に引き上げ命令がきて、港にトラックで行った。そのトラックには、荷物を荷台に乗せて、人はつかまって移動するらしい。しかも、落ちてしまった人や荷物は無視して先に行ってしまうらしい。また話を聞くと、

「ロシア人が良さそうな荷物を見つけると、けおとして行くんです。それを朝鮮人とかが拾って持って行ってしまう。」

と言っていて驚いた。私はロシア人と会ったことはないけれど、そこまで悪い人だとは思わなかったからだ。佐藤さんは他にも北海道に渡った時の話や北方領土のビザなし交流に行った時の話をしてくれた。私は佐藤さんのような体験をしたことはないけれど、もし故郷を追い出されたらと想像すると、とてもつらいと思う。元島民の方にお話を聞ける機会はめったにないので、このことを勉強にも生かしていきたいと思った。

私は今回の北方領土学習でたくさんの事を学べた。島での暮らし、北海道に着くまでの話、島民の方の思いの一端をかいまみることができた。島民の方の心に寄りそう事は、私ではできないけれど、北方領土の返還に向けて、私にできることから少しずつ始めていきたいと思った。